

◆ 上位計画・関連計画における金ヶ崎周辺整備

◆第6次敦賀市総合計画【目標年次 H32】◆

世界をつなぐ港まち
みんなで拓く交流拠点都市 敦賀

【基本目標】豊かさに満ちたまちづくり

赤レンガ倉庫や人道の港 敦賀ムゼウムをはじめとした港まちとしての趣が残る施設を、交流拠点都市としてふさわしい人的交流を促進する資源として捉え、これらを活かしながら、敦賀港とその周辺地域を人が行き交うにぎわいの交流拠点として整備することで、港まちとしての魅力の創出を目指します。

◆都市計画マスタープラン【H12.10 H21.7改訂】◆

歴史と文化と交流の港まち つるが

◆中心市街地整備の基本方針◆

これまで築いてきた港まちの歴史・文化を活かした、人が訪れやすい、人が暮らしやすい都市づくり

・敦賀駅周辺エリア、氣比神宮周辺エリア、敦賀港周辺エリアを中心市街地として位置づけ

◆中心市街地活性化基本計画【H21.12認定】◆

港都つるが交流文化の再生と創造

◆中心市街地活性化の目標◆

①敦賀の歴史・文化と新たな魅力が調和した中心市街地

観光施設の年間入込客数
平成 20 年 847.5 千人⇒平成 26 年 891.9 千人
(約 5%増加)

②人が行き交い、新たな交流が生まれる中心市街地

歩行者・自転車通行量(休日)
平成 20 年 2,859 人/日⇒平成 26 年 3,150 人/日
(約 10%増加)

年間小売販売額(参考指標)
平成 19 年 11,182 百万円⇒平成 26 年 11,200 百万円
(約 0.2%増加 現状維持)

◆中心市街地活性化のメインテーマ・基本的な方針◆

(中心市街地活性化基本計画：H21.12)

■活性化のメインテーマ

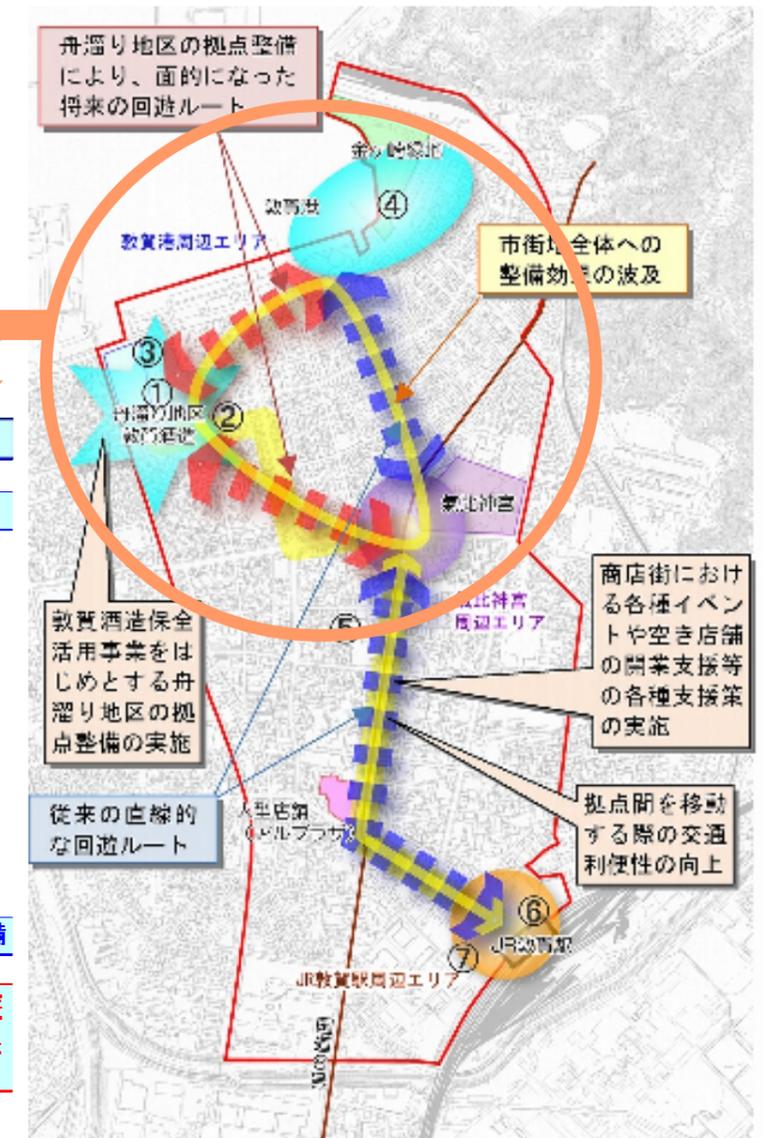
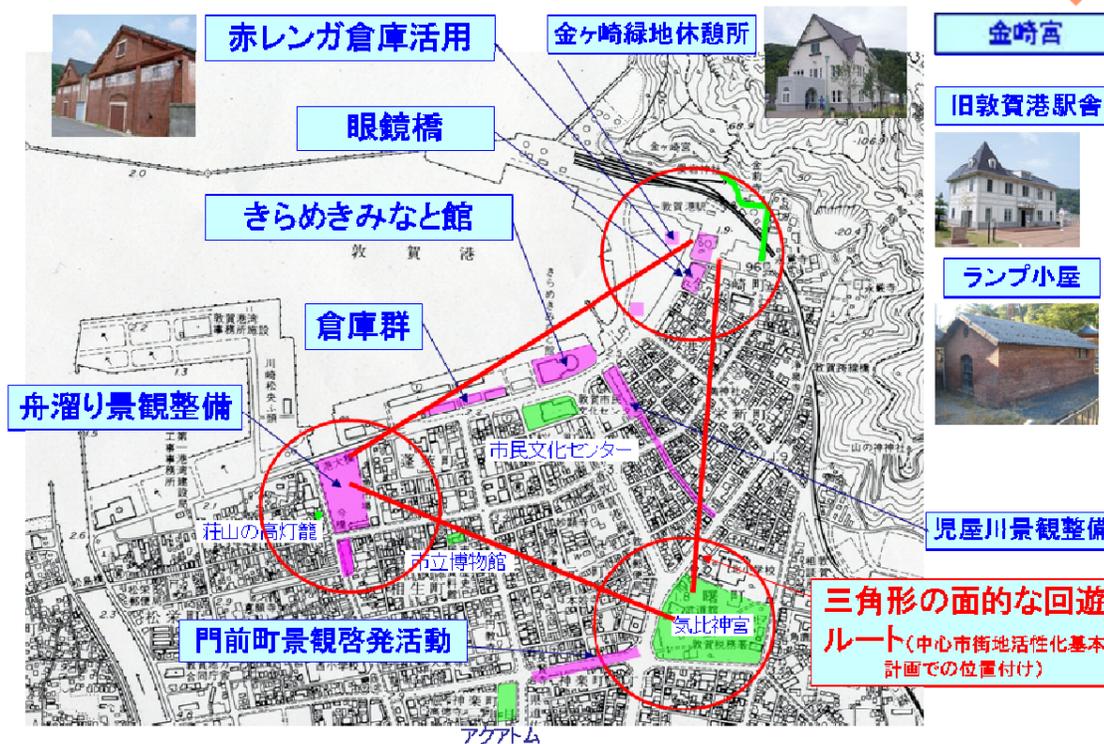
観光による「交流人口の増加」

●氣比神宮と賑わい拠点を結ぶ「商店街を軸とした回遊ルート」の創出

◆基本方針

●敦賀らしい資源を活かした「集客拠点」・「魅力的な景観」の創出

●氣比神宮と賑わい拠点を結ぶ「商店街を軸とした回遊ルート」の創出



◆中心市街地活性化基本計画の中で賑わい拠点の一つとして位置付けられている金ヶ崎周辺には、港まちを感じさせる赤レンガ倉庫やランプ小屋、現在休止している港線や旧敦賀港駅舎などの鉄道関係の資源があるとともに、未活用の土地も点在しています。

◆このような資源について、個々に活用方策を考えるのではなく、将来にわたって一体的に活用していくための構想を策定するための最初の取り組みとして、市民の方々の提案やアイデアを幅広く取り入れるため、ワークショップを開催しました。